

2022年度 第60回「子どもを守る文化会議」

## 第2回実行委員会

10:00~11:00

### 1 開会のことば

司会 飯田 好洋

事務局長 天野 誠

### 2 スローガン紹介

「子どもたちのよりよい未来のために ~今私たちにできること~」

事務局長 天野 誠

### 3 支部長あいさつ

静教組小笠支部長 澤田 貴成

### 4 世話人挨拶

世話人 小野 和典 様

### 5 報告事項

事務局長 天野 誠

- (1) 組織一覧について
- (2) 当日の日程について
- (3) 当日の分散会について
  - ① 当日の分散会会場について
  - ② 流れ、役割分担、テーマについて
  - ③ 記録用紙、清書について
- (4) 託児について
- (5) 緊急時の連絡について
- (6) 私たちの誓い（案）について
- (7) その他連絡等

### 6 閉会の言葉

事務局長 天野 誠

## 5 (2) 当日の日程について

日 時 : 2022年9月3日 (土)

会 場 : 生涯学習センター 掛川市御所原17-1

駐車場 : 生涯学習センター駐車場に停めてください

時間	役割分担	備 考
11:30	各まる子班代表教員、保護者代表集合 →舞台で動きの確認 班長+養教部、女性部担当、青年部長→受付準備、保安説明 ※受付で一般社団法人清水健基金、募金設置	
12:30~	教員・保護者受付・託児受付開始	
13:00 ~ 15:00	<b>開会行事・記念講演 (大ホール)</b> ※座席の指定はありません。 ・司会進行 (教員班代表: A ) ① 開会の言葉 (教員班代表: B ) ② 世話人あいさつ (小野 和典 様) ③ 講師紹介 (教員班代表: C ) ④ 講演 (清水 健 様 キャスター) ⑤ お礼の言葉 (教員班代表: D ) 花束贈呈 (保護者代表: ) ⑥ 日程・会場の説明 (教員班代表: E )	
15:00 ~ 15:10	休憩・移動	
15:10 ~ 16:10	<b>分散会 (各分散会会場)</b>	
16:10~	閉会行事 (各分散会の中で行う) ※司会の方が閉会行事を進めてください。 ①感想発表 (各分散会出席者全員) ②誓いの言葉 (紙面で確認) ③連絡 (必要に応じて)	・各分散会 会場
片付け	(分散会ごと会場の復元を行い、終わり次第分散会ごと解散) ※各まる子班代表教員、班長、養教部担当、女性部担当、青年部長、(支部役)で全体の片付けを行う。	



## 5 (3) ② 9/3 当日の分散会の流れとテーマについて

### ① 【アイスブレイキング①積み木自己紹介】

分散会会場にメンバーが揃いましたら、司会の方は会を始めて下さい。今回は、本番当日が初顔合わせなので、アイスブレイキングを兼ねた自己紹介からスタートします。

まず、最初の方が「〇〇です」と自己紹介をします。続いて時計回りで次の人が「〇〇さんの隣の□□です」、そのまた次の人が「〇〇さんの隣の□□さんの隣の△△です」という具合で付け足していきます。この後、もう1周改めて自己紹介をしてもらいますので、この積み木自己紹介は、お名前だけで結構です。

### ② 【アイスブレイキング②実は…自己紹介】

改めてもう一週自己紹介をして頂きます。自己紹介の内容は簡単で結構ですが、その中に、必ず、「実は…」という文章を入れてください。「〇〇中の保護者の〇〇と申します。よろしくお願いします。実は…」こんな具合です。

### ③ 【講演会感想の共有】

自己紹介が終わりましたら、当日の講演会の感想の共有を各グループで行ってください。

### ④ 【各テーマに沿った話し合い】

司会の方を中心として、分散会ごとに下記にあるテーマを参考にしながら話し合いを行ってください。テーマは、一つにしぼる必要はありませんので、講演会の内容から膨めたり、話し合いの流れで別テーマへと移ったりしながら、自然な流れで話し合いを進めていただけたらと思います。自己紹介から感想共有、テーマについての話し合い終了まで、トータルで1時間を予定しておりますので、司会の方は時間を気にしながら進めてください。記録の方は当日の冊子に記録用紙がついていますので、忘れずに記入をお願いします。記入から清書、提出の流れについては、次ページを参照してください

### ⑤ 【閉会式】

話し合いが終了したら、そのまま各グループごと閉会式を行ってください。司会の方は進行をお願いします。当日の会の感想をグループで共有し、次に「誓いの言葉」の確認（冊子に載っています）をします。どなたか一名に読んでもらい、それを聞く形となります。以上で閉会式は終了です。使用している会場の片付けをグループで協力して行っていただき終わりましたら、そのまま解散となります。

	第60回 子どもを守る文化会議 分散会話し合いのテーマ
①	小学生、中学生の生活について ～家での過ごし方～
②	子どもの抱える問題について考えよう ～いじめ、不登校、ネット事情、～
③	子どもと学習について考えよう ～自ら学習する子を育てるには～

## 5 (3) ③ 記録用紙の清書について (次ページに例が載っています)

- 記録用紙の清書は記録の方が行ってください。  
(記録用紙の提出はドロップボックスにて提出になります)
- 記録用紙は、後日パソコンで清書し、ドロップボックスにて提出になります。  
データ名は「まる子記録用紙(第〇分散会)」としてください。
- 記録用紙清書用は子どもを守る文化会議終了後、小笠支部のホームページからダウンロードしてください。

小笠支部 まるこ



- ※ それぞれの分散会記録用紙を冊子にしますので、書式の変更等は御遠慮ください。提出された記録用紙をそのまま冊子に載せる予定です。
- ※ 記録用紙の内容によっては、訂正・再提出をお願いする場合がありますので、ご了承ください。特に誤字やお名前間違いなどがないように十分気をつけてください。



## 記録用紙の提出メ切 9月23日(金)

ドロップボックスにて提出になります。

データ名は「まる子記録用紙(第〇分散会)」としてください。

※ドロップボックスでの提出方法は、各分会長に確認してください。

## 5 (4) 託児について

- 託児希望の子どもは8月27日現在で6名です。
- 託児は、「掛川市託児サポーター」にお願いしています。
- 託児利用者は、子どもの飲み物とおやつの用意をしてください。
- 3ヶ月から小学校6年生まで託児可能です。
- 原則的に託児希望は締め切っていますが、もし当日までに希望する方がいましたら、すぐに事務局まで連絡してください。

## 5 (5) 緊急時の連絡について

- ・台風や地震など、会の中止に関わる事態が起こった場合、ホームページで情報を流します。御確認をお願いします。中止の判断は6:00にいたします。  
ホームページは下記からアクセスしてください。
- ・教員代表は、連絡があった際に自校の保護者代表に必ず伝えることを忘れないようお願いします。
- ・当日欠席される方がいましたら、事務局(090-5606-2720)までお知らせください。

小笠支部 まるこ



# 記録用紙見本

第60回 子どもを守る文化会議 記録用紙

第 20 分散会

# 見本

参加者数 ( 6 ) 名

司 会	小笠太郎
記録者	小笠花子

1 【清水健さんの講演を聴いての感想】

・  
・  
・  
・  
・



出た意見を書い  
てください。

感想の交流をお  
願いします。

2 【家庭での過ごし方～高学年～】

- ・ (例) 平日は帰りも遅くなり、就寝時間が遅くなった
- ・ (例) 時間を決めてテレビ、ゲームをしている。
- ・
- ・

2以降は、話し合  
ったテーマを書  
きます。

3 【習い事】

- ・ (例) 最近塾に通い始めた。中学校を見越して、勉強する癖をつけたい。
- ・
- ・
- ・

記録用紙 ※本番当日の冊子に入っています

第60回 子どもを守る文化会議 記録用紙

第	分散会
---	-----

参加者数 ( ) 名

司 会	
記録者	

1	【清水健さんの講演を聴いての感想】
	・
	・
	・
	・
2	【
	・
	・
	・
	・
	・
3	【
	・
	・
	・
	・
	・

- 当日の手書きの記録用紙は、後日パソコンで清書し、ドロップボックスにて提出になります。記録用紙清書用は子どもを守る文化会議終了後、小笠支部のホームページからダウンロードしてください。データ名は「まる子記録用紙(第○分散会)」としてください。9月23日(金)までをお願いします。  
※ドロップボックスでの提出方法は、各分会長に確認してください。

## 私たちの誓い (案)

一九六一年、掛川で第一回の小笠・掛川「子どもを守る文化会議」が開かれて以来、この会は子どもたちの健やかな成長を願う多くの人たちの手で育まれながら、今年で六十回を迎えることができました。半世紀以上にわたり、この「子どもを守る文化会議」が開催され続けていることに、歴史の重みを感じます。

近年、子どもたちをとりまく環境は大きく変化しています。情報社会で育った子どもたちは、実体験で得られた経験や考え方ではなく、ネットの中から得られた大量の情報を基に物事を判断します。そのため、相手の考えや思いを理解することが苦手だったり、人間関係に悩んだりする子どもたちがいます。そして、日々の忙しさの中で、どのように子どもに接し、成長を支えればいいのか、子育てに悩む親は少なくありません。

しかし、どんなに時代が流れても、どんなに社会のあり方が変わっても、子どもたちが大切な存在であるということは不変の事実です。

私たちは、未来を担う子どもたちのために何ができるのかを考え、希望をもてる未来をつくりたい、そんな思いで今日ここに集いました。

講演会では、清水健さんから、子育てに対するヒントを、ご自身のエピソードを交えて教えていただきました。また、分科会では、子どものことについて、真剣に話し合いました。

今日、私たちは多くの話を聞き、語り合いました。そして、それぞれの子どもへの想いを共有しました。ここで得たことを、子どもたちの教育に大いに生かしていきましょう。そして家族や地域のみなさんと一緒に、子どもたちの笑顔があふれる明日をつくっていきましょう。

私たちは今日、次のことをここに誓い、行動していきます。

### 誓　　い

- 一、分科会で話題になった内容や、記念講演で学んだことを、学校や地域家庭で話題にし、多くの人に語り紹介します。
- 一、子どもたち一人ひとりが、明日への希望を咲かせられることを願い、子どもたちをとりまく問題や環境について何がよいのか判断する目を養うと共に、それらの問題から子どもたちを守ります。
- 一、今日の出会いを大切にし、子どもたちの問題、教育をとりまく問題などを語り合う仲間を増やし、来年行われる第六十一回子どもを守る文化会議の成功を目指します。

二〇二三年 九月 三日

第六十回 子どもを守る文化会議



# 子どもの森のうた

合唱団のなかま 平松文平 詞  
菅谷 巖作曲

愛情をこめて

The musical score is written for voice and piano. It consists of four systems of music. The first system has lyrics: あ さ か ぜ に ぐ え そ よ が す. The second system has lyrics: の も り は わ た し た ち の も り. The third system has lyrics: ど も の も り や り ぐ ぐ な る. The fourth system has lyrics: も り こ ど も の も り. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, a key signature of one sharp (F#), and a time signature of 6/8. There are also performance markings like 'rit.' and '1. 2. 3.' and '4.'.

## 子どもの森

- (一) あさかぜに 梢そよがす  
この森は  
わたしたちの森 子どもの森
- (二) 山こえて 小鳥あつまる  
この森は  
よろこびの森 子どもの森
- (三) あらしこい 雲つき破る  
この森は  
たくましい森 子どもの森
- (四) 若い木々 みんなのびてく  
この森は  
でっかくなる森 子どもの森